



医療ひっ迫防止緊急アピール

～1月15日



12月定例愛知県議会閉会

12月20日に閉会した12月議会では、11月街宣でご報告した**あい知県民の日**(あいちウィーク11/21～27)の制定や、自宅療養者配食サービス、年末年始(12/29～1/3)に臨時に発熱患者等の診療・検査を行う医療機関・薬局への支援、繊維事業者の燃油価格高騰対策への支援等当初提出の補正予算102.27億円に加え、国の物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策の追加補正に伴う12月15日提出の追加補正445.48億円(計547.76億円)も可決しました。

追加補正の主な内容は、高病原性鳥インフル緊急対策に6.28億円、●私立幼稚園の感染症対策やICT環境整備に1.34億円、●障害者福祉サービス事業所等の支援に1.92億円、●観光消費の喚起に向けた取組に73.68億円、スマート農業機械等の導入支援に0.6億円、私・公立学校・認可外保育等の送迎用バス安全装置など安全対策に計8.91億円、



写真クラブの作品展で準特選1に選ばれた**平和なひと時**の前で大村知事と



令和4年11月27日に愛知県誕生150周年記念式典が挙行され、第一部は大村知事の式辞や連合愛知、県医師会、県農協中央会、県私学協会等の代表者に感謝状贈呈、絵画コンクール表彰(稲沢から稲沢東小四年平尾さん、千代田小四年大宮君が優秀賞に)が、第二部では記念講演、名古屋フィルハーモニー交響楽団(指揮佐々木新平氏)の1872年に因んだ素晴らしい記念演奏が行われました。

妊婦・子育て家庭への経済的支援(R4年4月1日以降の出産を対象に妊婦・新生児一人当たり5万円)等に66.25億円などです。コロナ関連予算は12月補正45+●76億円、累計1兆4,354億円です。

愛知県議会イスラエル国訪問概要報告 2022.10.31～11.5

大村知事からの要請を受け5月に知事が訪問したイスラエルに県議会議員15名(新政あいち5、自民8、公明1他)、5泊6日(機中2泊)で派遣され、鈴木も副団長として参加しました。直行便がないため成田国際空港→ドバイ経由でイスラエル入国、帰途は同じくドバイ経由で関西国際空港にランディング。訪問した都市は商都テルアビブ(及び近郊のハイザリア)と首都エルサレムです。概略は次項の通りです。

●そぶえイチョウ黄葉まつり

三年ぶりにそぶえイチョウ黄葉まつりが祖父江ぎんなんパークおよび祐専寺周辺で開催され大村知事をお招きしてのオープニングセレモニーではご来賓に愛知県商工会連合会の新美会長にもご臨席頂き、山崎地蔵寺太鼓や餅投げなど盛大に開催されました。



●連合愛知交通安全街頭宣伝行動

県交通安全推進協議会の協力要請を受け連合愛知尾張南地協で稲沢警察署にご協力を頂きアピタ稲沢店で交通安全活動を実施、3年連続交通事故死者数全国ワースト1位を回避しましたが11月末の死者数124人は昨年同期比18人増、全国2番目の人数です。



●全国都道府県議長会表彰

地方自治功労(県議在職15年)で全国都道府県議長会から表彰があり須崎議長(左)より伝達頂きました。鈴木は市議会議員2期(7年)、県議会議員は現在4期目を務めさせて頂いており政治に携わってから24年目になります。写真は議長室で佐藤副議長も一緒に



STEP 21 県政

2022R04



新政あいち県議団

すずき純

鈴木じゅん事務所 〒492-8229 稲沢市稲島10-82 Tel 24-6600 Fax 23-0791 juneri@na.commu.fajp

2212

新型コロナワクチンについて

令和4年9月末から、2回目接種を終えた方を対象に、オミクロン株対応ワクチンを使った接種が始まっています。
また、5歳から11歳の小児に対する3回目接種も始まりました。
ぜひお早めに接種にお出かけください。



愛知県議会イスラエル国訪問概要報告 R4.10.31~11.5



■イスラエル国概要

- 人口 約950万人
- 在留邦人 1,156名
- 面積 2.2万km²(日本の四国程度)
- 首都 エルサレム
- 民族 ユダヤ人約74% アラブ人約21%ほか
- 宗教 ユダヤ教約74% イスラム教約18% キリスト教約2%他

■エルサレム市内視察

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教にとって聖地と云われるエルサレムではユダヤ人にとって最も大切な祈りの場である西の壁(嘆きの壁)に手を触れ、キリストが十字架を背負って歩いた道などを見学して、それぞれの宗教や国民性を深く知ることができました。特に、救いの神であるイエスをユダヤ教徒が処刑させたことがユダヤ迫害の根底にあるという解説に衝撃を受け、権力者や宗教による迫害・破壊の歴史を再認識しました。また、死海写本を蔵するイスラエル博物館も視察しました。



西の壁 (街はみんなNOマスクでした)

■ヤド・ヴァシェム訪問とサバイバーとの面談

1953年に設立されたナチス・ドイツによるユダヤ人大虐殺(ホロコースト)の犠牲者を追悼するイスラエルの国立記念館、ヤド・ヴァシェムでは、600万人とも言われる犠牲者の一人一人が想起され心が震えました。

1927年生まれの94歳のサバイバーであるパール・ショー氏からは、幾多の生命の危険を乗り越えて杉原千畝領事代理から日本通過ビザの発行を受けニュージーランド渡航の経緯と杉原氏と日本への感謝を伺いました。



杉原千畝氏の記念樹 パール・ショー氏と

■スタートアップ関係団体・企業訪問

日本-イスラエル間の企業進出を支援している Jakore (ジャコーレ) のヨニー氏からはスタートアップ成功への5つの鍵として、アイデア、ビジネスモデル、チーム、ファンド、タイミングの話や、**Thinking Outside of The Box**: 常識にとらわれない、失敗を恐れない、上下関係が弱いなど 企業文化(国民性)をお話し頂き、雑誌で日本では会社は我が子と同じという話をしたところ、スタートアップ企業も M&A などで資金調達した次の段階で 自社を育てるという新たなフェーズにこの話があり IPO(新規株式公開)も含め EXIT だけが目的ではないと安心しました。また、覚書を締結した 寄付運営の Start-Up Nation Central、水素 1kg = 1\$ を目指す H2PRO 社、Everybody Wants To Fly を掲げる Airev 社も訪ねました。



独立独歩の中小企業のモノづくり最新機をバックに

■在イスラエル日本大使館訪問

水嶋特命全権大使との面談では鈴木氏の質問に対し杉原氏だけを取り上げるのではなくユダヤ難民の支援にあたったソ連出国に尽力した外交官や日本滞在などの総合的な取組、敦賀、神戸、横浜など千畝ルートなども検討してはとお言葉を頂☆き来春の直行便で日本から多くの方に訪問頂けるよう PR をとのことでした。



大使を囲んで意見交換



知事曰くアメリカの西海岸 5泊6日(機中2泊)の強行軍でしたが、神野団長はじめ関係の皆様背中を押して頂いた大村知事に感謝です。



カタール W 杯では強豪を逆転で撃破 決勝 T は惜敗でしたが元気をもらいました！今年もお世話になりました。来年は2月に知事選、4月に県議選、9月に市議選と選挙の1年ですが宜しくお願ひ申し上げます。よいお年をお迎えください。…**未来へつづくまちづくりへ**一生懸命動きます。愛知県議会議員 **鈴木じゅん**



新型コロナウイルス感染症

第8波の感染拡大の抑制に向け

医療ひっ迫防止 緊急アピール

実施区域：愛知県全域

12月8日～1月15日

I. 県民の皆様へのお願い

① 外出の注意点

- 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出など、感染拡大につながる行動は控えて
- 普段と異なる症状がある場合は、外出を控えて

② 県をまたぐ移動の注意点

- 基本的な感染防止対策を徹底
- 移動先での感染リスクの高い行動は控えて

③ 高齢者等への感染拡大の防止

- 高齢者・基礎疾患のある方に配慮
- 基礎疾患のある方と会う際は事前に検査

④ 基本的な感染防止対策の徹底

- 感染しない・させない
- 4人までを目安とし、マスク会食
- あいスタ認証店や安全・安心宣言施設を利用
- 「三つの密」は避けて



愛知県医療ひっ迫防止緊急アピール

第8波の感染拡大の抑制に向け 県民・事業者の皆様へのメッセージ

愛知県では、10月1日から『嚴重警戒』での感染防止対策により、感染拡大の抑制に取り組んでまいりました。

しかしながら、本県は11月1日から新型コロナウイルス感染の第8波に入り、新規陽性者数の増加に伴い、病床使用率が高い水準にあります。

加えて、これからの季節は、気温の低下や空気の乾燥など、感染症が流行する条件が重なることから、季節性インフルエンザとの同時流行などによる医療のひっ迫が懸念されます。

今後も、医療体制の機能を維持・確保していくため、「愛知県医療ひっ迫防止緊急アピール」を发出します。

県民・事業者の皆様には、改めて「三つの密」の回避、効果的な換気など感染防止対策の徹底をお願いします。

また、第8波の感染拡大と季節性インフルエンザの同時流行を抑制するため、県民の皆様には、1日でも早く、オミクロン株対応ワクチンとインフルエンザワクチンの接種を受けていただくようお願いいたします。

オール愛知一丸となって、この第8波を克服し、安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻していくことができるよう、皆様一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

- 1 実施区域 愛知県全域
- 2 実施期間 2022年12月8日(木)
～2023年1月15日(日)
- 3 要請事項 別紙「愛知県医療ひっ迫防止緊急アピール」に基づく対策の徹底をお願いします。

2022年12月7日

愛知県知事 大村 秀章

1 「医療体制の機能の維持・確保」のためのお願い

- ① 発熱等の症状が出たときは、まずは、かかりつけ医等の地域の医療機関や、保健所に設置された「愛知県健康フォローアップセンター（受診・相談窓口）」等に電話相談の上、県が指定した「診療・検査医療機関」を受診すること。なお、軽症又は無症状で感染の疑いがある方など、緊急でない場合は、休日・夜間の救急受診は控え、平日の日中にかかりつけ医等へ受診すること
- ② 救急外来および救急車の利用は、真に必要な場合に限るとし、専門WEBサイトや電話相談窓口を利用すること
- ③ 検査キットや解熱鎮痛薬等を、あらかじめ購入し、発熱等の体調不良時に備えること

2 「感染拡大防止」のための協力要請

(1) 県民の皆様への協力要請

- ① 日々の体調チェックや定期的な検温などにより、普段と異なる症状がある場合には、外出、出勤、登校・登園を控えることを徹底すること
- ② 基本的な感染対策の再徹底（「三つの密」の回避、手洗い等の手指衛生、効果的な換気等）
- ③ 速やかなオミクロン株対応ワクチンの接種
- ④ 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出など、感染拡大につながる行動を控えること。学校や部活動、習い事・学習塾、友人との集まりでの感染に特に気を付けること
- ⑤ 感染者との接触があった者は早期に検査を実施。帰省等で基礎疾患を有する者と接触する場合には事前の検査を実施
- ⑥ 飲食店での大人数、大声や長時間の回避、会話する際のマスク着用

(2) 事業者の皆様への協力要請

- ① テレワーク（在宅勤務）等の推進
- ② イベント等での感染対策の徹底
 - ・従業員への検査の勧奨・適切な換気・手指消毒設備の設置
 - ・入場者の整理・誘導・発熱者等の入場禁止・入場者のマスクの着用等の周知
- ③ 医療機関、高齢者施設、学校、保育所等において、次の対策を講じること
 - ・体調不良者の休職・欠席の徹底・効果的な換気の徹底・適切な感染防護等
- ④ 高齢者施設等における集中的検査の推進
- ⑤ 飲食店において十分な換気や、座席の間隔の確保又はパーティションの設置等

3 「業務継続体制の確保」のためのお願い

- ① 多数の欠勤者を前提とした業務継続体制の確保
- ② 一時的に業務が実施できない場合があることやその時の対応について、事前に、県民や取引先や顧客等に示すこと
- ③ 濃厚接触者でない接触者に対する出勤停止を要請しないことを徹底すること